

今回の「ぎんなん」は今月開催される展覧会の特集号です。子供たちがそれぞれの思いを込めた作品と、皆でアイデアを出し合い力を合わせて作り上げた空間を紹介します。子供たちが輝く南台ミュージアムをぜひご覧ください。

展覧会のご案内

展覧会テーマ

あつまれ未来の芸術家 ～輝け南台ミュージアム～

日時 11月17日(金) 9:00～16:30

11月18日(土) 9:00～16:30

(入場受付は閉場30分前まで)

※18日は3時間授業・給食なしです。

場所 南台小学校

体育館…図工作品・家庭科作品

体育館周辺…6年交流授業作品

正門前広場…5年交流授業作品・共同作品

ランチの森…ふふふコーナー

※入口は正面昇降口です。



鑑賞にあたって

- お車での来場はご遠慮ください。
- 自転車でお越しになる方は正門広場の駐輪スペースにお留めください。
- 上履きと外靴を入れる袋をお持ちください。
(体育館入口の下足入れの使用は混雑しますのでご遠慮ください。)
- 作品に触れたり、騒いだり、走ったりしないでください。
- お手洗いは体育館内・正面昇降口奥・体育倉庫横をご利用ください。

児童の放課後の鑑賞について

児童の放課後の鑑賞は、一度家に帰り荷物を置いてから、保護者同伴でお出かけください。

1年生

【平面作品】 はらぺこあおむし

ローラーで絵の具をコロコロ紙に広げたら、きれいな色紙ができました。絵本作家のエリック・カールさんも色とりどりの紙を組み合わせて、あおむしを作ったそうです。これを聞いた1年生は、自分たちもあおむしを作ろうとチャレンジしました。

【立体作品】 おしゃれぼうし

カラフルな紙からとんがり帽子かシルクハット、かぶってみたい形を決めて帽子を作りました。いろいろな材料を工夫して飾りつけたら、おしゃれな帽子になりました。かぶったら楽しい気持ちになる作品です。

【みんなでつくる】 ちょうちょになって

カラフルな色紙をたくさん作って自分のあおむしを生み出した1年生。あおむしが成長して変身した姿であるちょうちょも、グループで作ることにしました。色紙や模様紙を切ったり貼ったりして作ったすてきなちょうちょが宙を舞っています。

【全校作品】 光る道

ペットボトルに好きな色の蛍光絵の具と水を閉じ込めてシェイク！

楽しい色水作りをしたら、ブラックライトゾーンに並べました。ブラックライトに照らされたら、奥まで続く光の道になりました。

【交流授業】 くるくるはなが 光と風 清野泰行さんと1年生

手を
いっぱい
動かし、
いろいろ
な道具で
引っかい
たり押し
つけたり



清野泰行さん（東京学芸大学教授・東京学芸大学竹早小学校長）

清野泰行さんは東京学芸大学教授として学生の版画を中心とした絵画表現の指導をされています。また、町田市立国際版画美術館で子どもの版画講座を開催したり、展覧会を企画したりと、版画表現の魅力を学生や子どもたち、社会に伝える活動もされています。

2年生

【平面作品】 さくら

チョークを使って春色にした紙を手に、校庭に桜の木を描きにきました。花は自分でつくった桜色を指につけて画面いっぱいに咲かせていました。

桜の木の絵を飾る額縁はダンボールの凸凹を生かして作りました。

【立体作品】 おりたったまち

平らだった紙が、折り曲げて立てたら立体的になりました。切ったり穴を開けたりしていくと、建物のようになってきました。階段や2階、建物の内と外、家具、住んでいるものなど一人一人のアイデアいっぱいの楽しい家々が建ち並んでいます。

【みんなでつくる】 水族館

セロハンやアミ、お花紙などで海の中にいるものをつくり、和紙に挟んで絵にしました。出来あがった作品を光にかざすと涼しげで光を通してきれいでした。展覧会では光が差し込む窓に水族館を出現させました。

【全校作品】 ふわりん

命が生まれる季節 春をイメージしてタマゴを作りました。風船で型を取って、布をタマゴの形に固めました。軽やかでカラフルな模様の不思議な光るタマゴです。

【交流授業】 くるくるはなが 虫の世界 清野泰行さんと2年生

初めて使うカッターでスチレンを切り、できた形を並べたり重ねたり穴をあけたり引っかけたりと工夫して虫を表しました。作った虫を班で一枚の大きな版にしました。

その版を清野泰行さんと一緒に回転させながら刷っていきました。赤→黄→青と色が重なる度、虫がいる森の奥ような不思議な世界が表れてきました。この版画は大きな不織布に刷ったのでバンダナみたいにまとい、カメラを持って探検に出かけられそうです。



清野泰行さん

(東京学芸大学教授・東京学芸大学竹早小学校長)

清野泰行さんは東京学芸大学教授として学生の版画を中心とした絵画表現の指導をされています。また、町田市立国際版画美術館で子どもの版画講座を開催したり、展覧会を企画したりと、版画表現の魅力を学生や子どもたち、社会に伝える活動もされています。

3年生

【平面作品】 天までのびろ！

シュバルさんという郵便配達員が毎日石を拾い集め、その石で理想宮と呼ばれる建物をつくりあげたというお話があります。それを聞いた3年生は夢の建物を描いてみようかと挑戦しました。長い紙に、スタンプを使って積み上げていくように描いたり、ローラーや筆でのびのびと描いたりしていました。

【立体作品A】

世界にひとつだけの花

世界にはいろいろな花がありますが、自分の『世界にひとつだけの花』はどんな花かなと、一抱えもある大きな花を厚紙でつくりました。花びらの形や数、色、模様、花の中にあるものなど、一人一人が工夫をして、『世界にひとつだけの花』が生まれました。

【立体作品B】 プチプチランドの仲間たち

新聞紙や緩衝材の感触を味わいながら、ギュッとしたくなるようなプチプチランドの仲間たちをつくりました。針金を芯にして作ったのでポーズが変えられ、作った後も動きを楽しめる作品になりました。

【みんなでつくる】 デッカメン

世界中でいろいろな仮面が願いを込めたり、変身したりするものとして作られていました。中には大人の身長より大きなものもありました。3年生はグループでテーマを相談し、自分たちより大きな仮面づくりに挑みました。

【全校作品】 透けて光って

ブラックライトゾーンの全校作品の中で、透明感と光を楽しめる作品に挑戦しました。3年生は秋をテーマに色とりどりの光る木の葉をつくりました。

【交流授業】 東村山の「そめ」「おり」 東村山ふるさと歴史館と3年生

東村山には藍で染めた綿糸を織り機で緋（かすり）を織った文化があり、織り機がふるさと歴史館に残されています。緋は途絶えていたのですが、ふるさと歴史館で復旧しようと取り組まれています。そんな東村山の文化に触れながら、自分たちの布を織り出す体験ができたらと交流授業をしました。



3年生は自然から色をいただく体験として、草木染めをしました。染めの体験をもとに、ふるさと歴史館を訪れて昔の織り機を見た後、織り機で各学級1枚の作品を織り上げました。また、割いた布や毛糸を使った織りものを自分でつくった織り機でも織りあげました。

東村山ふるさと歴史館

東村山市は、古代の「東山道」、中世の「鎌倉街道」を軸に特徴ある歴史があり、これらを反映した文化財が残されています。ふるさと歴史館は文化財保護や歴史資料の収集を進め、東村山の歴史に関わる展示を開催しています。

4年生

【平面作品A】化石発見！

ある時代のものが、存在したその瞬間に封じ込められて、後の世界に表れた化石。自分ならどんな化石が見つかったらドキドキするかなと考えて、化石づくりをしました。固まった化石を仕上げるときは、こすったり磨いたりとまるで本物の化石の発掘をしているようでした。

【平面作品B】宇宙へのメッセージ

地面に刻まれ上空から見ないとわからないくらい大きなナスカの地上絵という絵があります。まるで宇宙へのメッセージのようだとも言われています。4年生は彫刻刀を初めて使った木版画で、自分が伝えたい地球の魅力をメッセージとして、線の魅力に託して彫っていました。

【立体作品】スペシャル CAR

4年生はノコギリやカナヅチをどんどん使い、木材の形を生かして組み立て、自分の独創的なデザインの車を制作しました。回るタイヤをつけたり、空を飛べる羽をつくったりと、動くスペシャルな車ができました。

【みんなで作る】宙

ビニールの袋に空気を閉じ込めてできる立体を組み合わせて、宙に浮かぶ不思議な印象の作品をグループで作りました。

【全校作品】雪の結晶

ブラックライトゾーンの全校作品の中で冬をテーマに、グループで雪の結晶を制作しました。木の角材で枠を作り、そこに糸をかけていき雪の結晶をイメージして表しました。ブラックライトで糸が光った瞬間は歓声があがりました。

【交流授業】GO GO! スペシャル CAR のまち 増淵剛志さんと4年生

4年生は図工の時間に木工で「スペシャル CAR」を制作していました。「スペシャル CAR」の作品の世界が膨らむような空間づくりを増淵氏とともに制作する交



増淵剛志さん（彫刻家）

増淵剛志さんは2014年に東京藝術大学彫刻科修了。いろいろな素材の彫刻を経験され、現在は水や鏡などを用い、その場の状況を喚起させる彫刻作品を制作しています。今年は舞踏のマスクデザインやパフォーマンスの空間表現なども手がけています。

5年生

【平面作品A】 舟の旅

「もしも舟で旅に出かけるとしたら、どんなところにどんな舟で出かけようかな」とイメージを膨らませて描きました。水上に行く舟だけでなく、空を飛んだり、宇宙へ旅したり、時空を越えたりと舟の旅は広がっていきました。

【平面作品B】 ほっとカフェ

カフェというとちょっと大人の空間。でも今はいろいろなカフェが生まれているようです。5年生は「こんなカフェがあったらいいな」と思うカフェを、香りがする絵の具も使って描きました。

【みんなでつくる】 風を感じて

風をはらむビニールシート、はためくすずらんテープ。風の動きを材料でつかまえて、空間をつくる活動を展開しました。この活動の空間は交流授業『舟の旅』の展示空間にもなりました。

【立体作品A】 伝説の城

土を練りながら、伝説になるような自分の城をイメージしてつくりました。板状にした粘土を筒状にしたり、壁として立ち上げたりしていくと、どんどん城が形になっていきました。つくりながら、城の伝説も次第に紡がれていくようでした。

【立体作品B】

キンゾクロン

人間の発想や技術はすごい力があるようです。「もしも金属に命を込められたらどんな生き物を生み出せるかな」と、金属の形や質感を生かしながら作りました。

【全校作品】

新しい星座

ブラックライトゾーンの全校作品で、夏をイメージする星いっぱいの夜空を制作しました。自分の新しい星座を考えて、大きな紙いっぱいにみんなで描きました。

【家庭科作品】

お気に入りエプロン

5年生になって始まった家庭科。初めてのミシンにドキドキの子供たちでしたが、「速い！縫い目がきれい！」とミシンの良さを感じながら、楽しく取り組みました。世界に一つだけのお気に入りのエプロンができました。



【交流授業】 舟の旅 NPO 法人アートフル・アクションと5年生

「もしも舟で旅に出かけるとしたら、どんなところにどんな舟で出かけようかな」という一人一人のアイデアからスタートし、グループで一隻の大きな舟をつくる活動に展開していきました。NPO 法人アートフル・アクションの皆さんがそれぞれの活動に寄り添い、活動がふくらんでいきました。

NPO 法人アートフル・アクション

小金井市内を中心に北多摩で、企画展・イベント・講演・ライブなど、様々なアート活動を行っています。アートフル・アクションが目指しているのは、アートと出会った人が自分自身の新しい可能性を発見し、豊かな生き方を目指していくきっかけや場をつくることです。現在、市民、自治体、学校、他の NPO、企業などと連携しながら、「地域におけるアート」の可能性を追求している団体です。

6年生

【平面作品A】マイフレーム

6年生は自分の世界を自分の額に込める作品に挑みました。額縁の形はさまざまな形や立体感があり、額縁に物語がある作品や、裏も見せる作品もあります。額の中に込められた世界には、模様や感触を味わうもの、見せたい世界を描いたもの、額縁とつながっているものもあります。

【平面作品B】墨から

日本では昔から草木や竹、岩や土、貝、動物の毛や脂など、自然のものを使って絵を描いていました。6年生も材料を工夫して自分の筆を作ったり、墨の濃淡や筆の使い方・種類によってどんな表し方ができるか試したりして描き方を考えました。

【全校作品】

めざせ！輝く塔へ

ブラックライトゾーンの全校作品の奥に、「光の旅で目指すもの」をイメージして作りました。発泡スチロールの形を生かしたり、組み合わせさせてつないだりして大きな作品になりました。

【立体作品A】動き出す

上下したりクルクル回ったりするクランクやカムという動く仕組みを生かした工作に挑戦しました。仕組みの動きから発想してつくった作品はストーリー性や思いがけない動きがあり、鑑賞するのが楽しい作品です。

【立体作品B】龍 ここに、え？

龍とドラゴンの作品を鑑賞した6年生は、鑑賞をきっかけに、作品がどんなところにあったら、作品の雰囲気味わえるか、思いがけない出会いがあるか、身近に感じられるかなど、作品がある場所を考えて表しました。

【みんなでつくる】

体いっぱいアート

「かげおくり」の体験から、大きな紙に皆で自分の分身を思いっきり描くことにしました。紙の上にポーズを考えて寝ころび、友だちとポーズを写しとりあい、思い思いの色や模様になりました。

【家庭科作品】

お気に入り 私のバッグ

「どんなときに使おうかな。どんな絵を入れようかな。」と考えながら作りました。本体部分はミシンを使いました。出し入れする部分はほつれないようにしっかり返し縫いで仕上げました。ポケットのイラストはひと針ひと針手縫いで仕上げ、オリジナルのバッグができあがりました。

【交流授業】ギャラリー〇〇 NPO 法人アートフル・アクションと6年生

6年生の子どもたちがアイディアを出し合い、「南台小学校のこんなところにこんな空間が？」と感じるような場をギャラリーとして表現する活動をしました。その活動をNPO 法人アートフル・アクションの皆さんと関わりながら広げました。



NPO 法人アートフル・アクション

小金井市内を中心に北多摩で、企画展・イベント・講演・ライブなど、様々なアート活動を行っています。アートフル・アクションが目指しているのは、アートと出会った人が自分自身の新しい可能性を発見し、豊かな生き方を目指していくきっかけや場をつくることです。現在、市民、自治体、学校、他のNPO、企業などと連携しながら、「地域におけるアート」の可能性を追求している団体です。

全校作品『四季の旅』

ミーティングルーム

ミーティングルームはブラックライトの空間になっています。1年生の『光の道』が入口から奥まで誘い、四季の旅がスタートします。3年生の秋の『透けて光って』、4年生の冬の『雪の結晶』、2年生の春の『ふわりん』、5年生の夏の『新しい星座』と季節は巡ります。旅先には6年生の『めざせ！輝く塔へ』が輝いています。

ふふふコーナー

ランチの森

南台小学校がある地域 富士見町では、「ふふふ懇談会」（ふじみ、ふくし、ふれあい）が開催されています。町内にある福祉施設連絡会、各自治会、学校、保育園、老人クラブ、青少対等、その他多くの方々を構成員として意見交換が行われています。その地域のつながりを深めていこうという活動の一環として、富士見町地域の4校の作品が展示されています。

出展校：東村山西高等学校 明法学院高等学校 東村山第一中学校 桜華学院中学校

にじいろワークショップ

わっ！つながった

にじいろ班（縦割り班）の1～6年生が集まって造形ワークショップを行います。

日時 11月18日（土）8：50～10：00
※授業公開はこの時間のみです。

場所 晴天時は校庭で実施します。
右図の各班の活動場所に集まります。
※雨天時は（ ）の場所に集まります。



キッズ学芸員

南台小学校の子供たちが様々な活動に取り組んだ展覧会をご来場いただいた方々に紹介しようと、6年生は各学年の担当を決め、それぞれの活動について取材をしました。伝える内容を考え、この日のために用意しています。各コーナーでキッズ学芸員としてお待ちしております。

日時 6年1組 11月18日（土）10：30～11：00
6年2組 11月18日（土）11：00～11：30
場所 体育館 各学年のコーナー